

アジア研究教育ユニット（世界展開力・特別経費）平成 28 年度教育研究報告書

事業課題名	学生・院生および引率教員の海外派遣／タマサート大学
代表者名	久野秀二（経済学研究科）
事業概要 (600 字程度)	<p>2013 年度に締結した経済学研究科とタマサート大学国際学部との交流協定および 2016 年度に締結した経済学研究科とチェンマイ大学経済学部との交流協定に基づき、タイへの短期学生派遣プログラムを行った。チェンマイでは、チェンマイ大学の教員による講義、大学院生合同ワークショップ、政府機関（投資委員会）、在チェンマイの日系企業、アグロフォレストリー農家への訪問を行った。バンコクでは、在バンコク国際機関（国連工業開発機関）や政府機関（外務省）、市民社会組織・農場等へのフィールド・トリップを実施したほか、チュラロンコーン大学経済学部とタマサート大学経済学部の協力を得て、タマサート大学国際学部において 3 大学合同の大学院生ワークショップを開催した。</p> <p>経済学研究科の東アジアコースに所属する大学院生 6 名、一般コースの大学院生 3 名、経済学部の学生 1 名、研究生 1 名、文学研究科の大学院生 1 名の計 12 名（うち 2 名はチェンマイのみに滞在）が参加した。</p>
成果の概要 (800 字程度)	<p>2016 年 9 月 19 日～9 月 28 日までの 10 日間、経済学研究科の大学院生 9 名、学部生 1 名、研究生 1 名、文学研究科の大学院生 1 名が本プログラムに参加した。</p> <p>本プログラムは経済学研究科の国際プログラム「東アジア持続的経済発展研究コース」の配当科目である「Field Research in East Asian Region C: ASEAN」を兼ねて実施された。プレ SEND として実施された 2012 年度の派遣プログラム以来、今回で 5 回目となる。タマサート大学国際学部の全面的な協力を得ながら、これまでは、①タイの文化・政治・経済に関する、元政府関係者を含む講師陣による講義と、文化施設・政府機関・現地企業など各講義に関連したフィールド・トリップとを組み合わせた短期研修、②タマサート大学国際学部・経済学部、チュラロンコーン大学経済学部（2014 年度から）を含む 3 大学合同の大学院生ワークショップ、③バンコク以外の地域（2013 年度はチェンマイ、2014 年度はプーケット）へのフィールド・トリップ、を主な内容としてきた。2016 年度は、協定校のチェンマイ大学の協力も得て、③の充実を図ることができた。チェンマイを訪問し、同大学の教員による講義、学生との研究交流の時間を設けることができたほか、チェンマイの日系企業や農場訪問を実施した。</p>